作成年月日	平成 25 年 7 月 1 日
作成部局課室名	企画県民部広報課広聴室

# 県民モニター「第1回アンケート調査」結果概要

#### 1 調査概要

(1) 調査テーマ:「次代を担う人づくりについて」

(2) 調査対象者:県民モニター 1,944 人(3) 調査期間:平成25年4月18日(木)

~5月8日(水)[21日間]

(4) 調 査 方 法: 県ホームページ上のアンケートフォームに入力

(5) 回答者数: 1,451人(回答率74.6%)

#### <参考-対象者及び回答者属性>

		対象者	回答者	回答率
総数		1,944	1,451	74.6%
性	男性	1,053	836	79.4%
別	女性	891	615	69.0%
	10~20代	134	71	53.0%
年	30 代	304	189	62.2%
代	40 代	393	279	71.0%
別	50代	337	255	75.7%
המ	60代	444	379	85.4%
	70 代以上	332	278	83.7%

#### 2 調査結果の概観

### (1) 晩婚化・未婚化

項目	<del>10 水増10</del> アンケート結果(主	 Eな意見)		結果の考察
晩婚化・未婚化が	区分	全体	経済的な不安が突出しており、結婚生活や家庭生活の不安	
進んでいる る原因	経済的に不安がある	71.4%	70.8%	の割合も高い。   30 代以下の世代では、「男女
る原囚	結婚生活又は家庭生活を不安 に感じる	40.0%	35.4%	の出会いの機会が少ない」、「仕事と家庭の両立に不安がある」
	男女の出会いの機会が少ない	36.0%	< 38.8%	の割合が高くなっている。
	家庭・職場・地域で結婚を後押しする雰囲気が弱い	35.8%	16.5%	結婚後の生活への不安を解消しする取組や情報発信が求められる。また、今後も「ひょうご出
	仕事と家庭の両立に不安がある	32.5%	< 38.8%	会いサポート事業」により、独
	異性とのつきあいに不慣れな 者が多い	30.1%	< 31.9%	身男女に出会いの場を提供し ていく。
	仕事に集中したい	9.3%	< 11.2%	
晩婚化・	区分	全体	30 代以下	経済的不安を解消するため、 「安定した雇用機会」夫婦とも
対する行	安定した雇用機会の提供	59.3%	51.2%	に働き続けられるような職場環
政の取組	夫婦ともに働き続けられるよう な職場環境の充実	56.1%	< 56.2%	境」への取組が期待されている。 特に30代以下の世代では、結婚や住宅に対する資金面の支援
	結婚した方が有利となる税制 や社会保障	42.8%	< 45.4%	についての要望も高い。
	出会いの場の提供	29.8%	28.8%	
	長時間労働の是正など自由な 時間の確保	26.5%	28.8%	
	結婚や住宅に対する資金の貸 与や補助	25.9%	< 32.7%	

丸数字は順位

## (2)子育て環境

(2)子育	(			
子育て環 境におけ る問題	区分	全体	子どもがいる 世代	半数以上の人が子育てしやす い労働条件、子育ての経済的負 担、保育所・幼稚園などの子育
	子育てしやすい労働条件が十 分でない	60.9%	60.5%	て基盤を問題と感じている。 「新ひょうご子ども未来プラ
	子育てにお金がかかる	54.1%	< 63.2%	ン」の今年度の7つの重点目標
	保育所・幼稚園や児童館などの 施設やサービスが十分でない	50.5%	44.1%	としてあげている「子育て基盤」の整備推進」、「女性の就業、子
	子育てに関する悩みや不安を相 談できる相手や場所がない	29.1%	14.7%	育てと仕事の両立支援」、「子育」 ての経済的負担軽減」を着実に
	子どもの育て方やしつけ方がわ からない	24.7%	15.7%	推進していく必要がある。 
	自分で自由に使える時間がとれない	14.5%	< 22.1%	
	親子に対する保健・医療サービスが十分でない	14.1%	< 19.4%	
子育てと				「育児休暇を取りやすい職場
仕事を両 立するた	区分	全体	子どもがいる 世代	づくり」、「再雇用の支援」、「保 育所の充実」の割合が高い。特
めの取組	育児休暇を取りやすい職場づくり	53.5%	40.1%	に子どもがいる世代は、「短時間
	再雇用の支援	40.0%	32.8%	労働制度の導入」に対する割合が     高く、働きながら子育てができる環
	保育所の充実	39.7%	33.1%	同へ、関さなから丁目でかてさる場     境整備への期待が伺える。
	短時間労働制度の導入	32.3%	< 41.8%	育児休暇の取組による継続雇
	休業中の所得保障	26.8%	23.1%	用や再雇用支援について、「ひょ
	時間外勤務・休日勤務の縮減	23.4%	23.4%	うご仕事と生活センター」「男
	管理職の意識改革	22.8%	< 29.8%	女共同参画センター女性就業相
	H-TIMOVICINADA I			談室」の取組の強化が期待され   る。
保育サー				保育時間の充実が 7 割を超え
ビスの充 実内容	区分	全体	子どもがいる 世代	ており、預けたいときに預けら れる環境が求められている。
	保育時間(延長保育、夜間保育、休日保育、一時保育)	73.6%	64.9%	また、保育所の数や定員の増 加に加え、特に子どもがいる世
	保育所の数や定員の増加	59.0%	49.5%	代では、「病児・病後児保育」の
	保育所と幼稚園の機能の一体化	34.1%	21.7%	割合が高く、引き続き子育て基     盤整備に取り組んでいく必要が
	病児·病後児保育	33.8%	<b>&lt;</b> 48.8%	一 ある。
フムテナ				-
子育て支 援に対す る行政の	区分	全体	子どもがいる 世代	待機児童の解消や幼児教育・ 保育の質の向上を求める割合が 高い。
取組	待機児童の解消や幼児教育と 保育の質の向上	44.8%	40.5%	待機児童の解消に向け、引き 続き、保育所や認定こども園の
	育児休業制度の普及促進や、 子育て女性等の継続就業・再就 職支援	38.5%	30.4%	整備を進めていく。 また、子どもがいる世代では、 「放課後対策の充実」の割合が
	妊娠・出産に関する支援	33.8%	33.1%	高く、今後も「ひょうご放課後
	放課後対策の充実	26.2%	< 34.8%	プラン事業」に取り組んでいく   必要がある。
	-			ど女ガのの。

#### (3) 青少年健全育成

(3)青少年健:	主育风		
「ふるさと」か	区分	割合	子どもの頃のふるさとの思い出と
ら浮かぶ子ど     もの頃の思い	地域のお祭りやイベント	58.4%	して、5割を超える人が「地域のお祭りかんでは、 りやイベント」、「祖父母、両親、家族、
出出	祖父母、両親、家族、幼なじみ	53.2%	幼なじみ」をあげている。次いで「山
	山歩きや川遊び、山からの眺望	39.4%	歩きや川遊び、山からの眺望」、「人と
	人とのつながり、ふれあい	31.3%	のつながり、ふれあい」の割合が高く
	地域の町並みや商店街	26.4%	なっている。
	田植え、稲刈りなど農作業手伝い	17.0%	お祭りやイベントなど地域行事へ
	小・中・高校時代の学校行事	17.0%	の参加体験や、家族など身近な人との
	神社や寺、史跡、文化財	11.3%	交流体験が、強くふるさと意識を育ん
	郷土料理や名物料理	8.1%	だことがうかがえる。
	公園や水路の清掃など地域の共		人生を通じて心の拠り所となるふ
	同作業	5.6%	るさと意識を育成するために、子ども
	伝承や民話	5.2%	の頃から家族や仲間との確かなつな   がりの中で、地域活動や自然にふれる
	ふるさとの名人、偉人	1.5%	体験活動を一層推進することが求め
	L		られている。
青少年が健全			半数近くの人が、「屋外で体を動か
に育つために	区分	割合	して遊ぶ」「自然とのふれあい」が大
大切なこと	屋外で体を動かして遊ぶ	49.8%	切であるとしている。次いで「家族や
	自然とのふれあい	48.7%	友達との語らい」、「近所の行事への参
	家族や友達との語らい	43.1%	│ 加 」、「 ボランティアなどの社会体験 」 │ の割合が高くなっている。
	近所のお祭りや行事への参加	31.2%	の割らが向くなりといる。
	ボランティアなどの社会体験	23.6%	自然体験をはじめ、地域の伝統行事
			やボランティア活動など、日頃からの
			様々な体験と、多様な人々との触れあ
			いを促す取組を進めることが求めら
<del></del>			れている。
青少年非行防	区分	割合	いじめや不登校などの悩み相談の
止に対する行   政の取組	いじめや不登校などの悩みを抱え		体制の充実を求める割合が最も高く、 いじめ問題等への関心の高さがうか
以の対象性	た青少年や保護者の相談体制の	46.0%	がえる。
	充実		
	家庭・学校・事業者・地域住民などが一体となり青少年の非行防止	45.2%	非行防止に向けては、家庭や学校、
	に取組む体制づくり	10.2%	地域が一体となった取組が求められ
	青少年に有害な情報を掲載した		ているほか、街頭補導や繁華街等の環
	サイトなど、インターネット上の有	34.0%	│ 境浄化活動などへの期待も依然とし │ て高い。
	害情報対策   喫煙や飲酒など不良行為を行う		
	青少年の街頭補導活動	33.9%	インターネット対策としては、フィ
	繁華街等における有害な環境を	32.8%	ルタリング機能の更なる普及など、有
	浄化する活動	02.070	害情報対策とあわせて、インターネッ
	青少年に規範意識を持たせるた   めの取り組み	28.7%	トの正しい使い方を学ぶ機会の提供
	スマートフォンなどを利用したイン		も求められている。
	ターネットの正しい使い方を学ぶ	17.3%	
	機会の提供		

アンケート結果は、少子対策や子育て環境の充実、青少年育成の施策を展開していくうえで活用する。

#### 3 調査結果

問1 晩婚化・未婚化が進んでいるが、その原因と 思うことは何か(3つまで選択)

(1)	経済的に不安がある	71.4%
(2)	結婚生活又は家庭生活を不安に感じる	40.0%
(3)	男女の出会いの機会が少ない	36.0%
(4)	家庭・職場・地域で結婚を後押しする 雰囲気が弱い	35.8%
(5)	仕事と家庭の両立に不安がある	32.5%
(6)	異性とのつきあいに不慣れな者が多い	30.1%
(7)	仕事に集中したい	9.3%
(8)	その他	13.3%
	・独身生活に不便がない	42件
	・自分中心の自由な生活を楽しむ者が 多い	27件
	など	193件

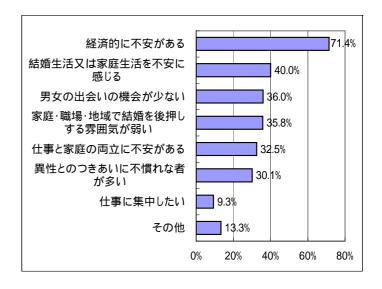
問2 晩婚化·未婚化に対する行政の取組として何を望むか(3つまで選択)

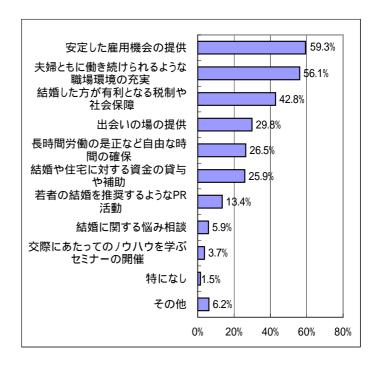
(1)	安定した雇用機会の提供	59.3%
(2)	夫婦ともに働き続けられるような職場 環境の充実	56.1%
(3)	結婚した方が有利となる税制や社会保障	42.8%
(4)	出会いの場の提供	29.8%
(5)	長時間労働の是正など自由な時間の確保	26.5%
(6)	結婚や住宅に対する資金の貸与や補助	25.9%
(7)	若者の結婚を推奨するようなPR活動	13.4%
(8)	結婚に関する悩み相談	5.9%
(9)	交際にあたっての/ウハウを学ぶセミナーの開催	3.7%
(10)	特になし	1.5%
(11)	その他	6.2%
	・家庭を持つことの意義等の教育	21件
	・行政の取組ではなく個人の問題	9件
	など	90件
	。 マスティナ 四 13 光 / 四 15 元 四 15 1 円 1	

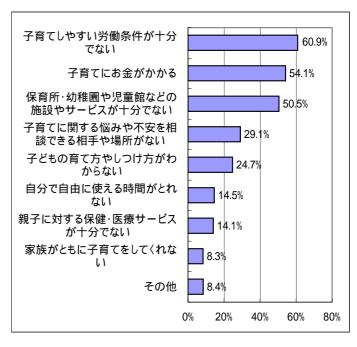
問3 今の子育てを取り巻く環境で問題と思うことは 何か(3つまで選択)

(1)	子育てしやすい労働条件が十分でない	60.9%
(2)	子育てにお金がかかる	54.1%
(3)	保育所・幼稚園や児童館などの施設 やサービスが十分でない	50.5%
(4)	子育てに関する悩みや不安を相談で きる相手や場所がない	29.1%
(5)	子どもの育て方やしつけ方がわからない	24.7%
(6)	自分で自由に使える時間がとれない	14.5%
(7)	親子に対する保健・医療サービスが十 分でない	14.1%
(8)	家族がともに子育てをしてくれない	8.3%
(9)	その他	8.4%
	·核家族で祖父母や地域からの援助 が受けに〈い	26件
	・自分中心の親が多い	20件

など

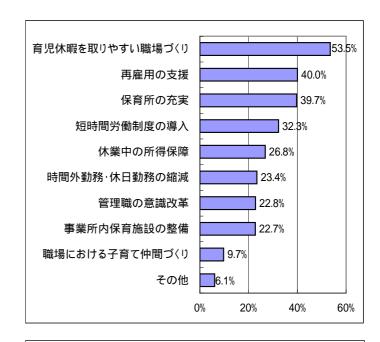


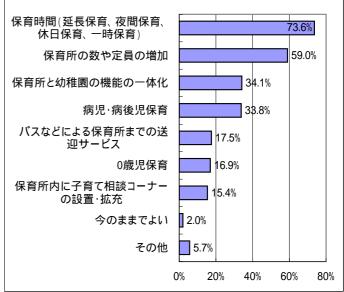


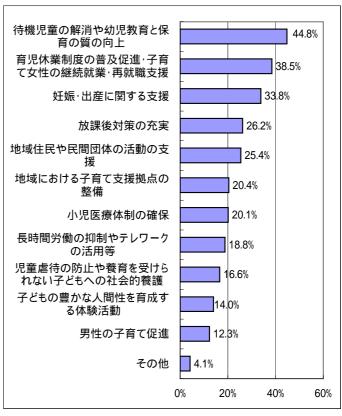


122件

	子育てと仕事を両立するため、どのよう な要か(3つまで選択)	が取組
(1)	育児休暇を取りやすい職場づくり	53.5%
(2)	再雇用の支援	40.0%
(3)	保育所の充実	39.7%
(4)	短時間労働制度の導入	32.3%
(5)	休業中の所得保障	26.8%
(6)	時間外勤務・休日勤務の縮減	23.4%
(7)	管理職の意識改革	22.8%
(8)	事業所内保育施設の整備	22.7%
(9)	職場における子育て仲間づくり	9.7%
	その他	6.1%
(10)	・子育てに専念すべき	0.1% 11 <b>件</b>
	・多様な形態の働き方の提供	8件
	など	88件
問5 仍	・ R育サービスについて、何を充実した	
(	3つまで選択)	
(1)	保育時間(延長保育、夜間保育、休日 保育、一時保育)	73.6%
(2)	保育所の数や定員の増加	59.0%
(3)	保育所と幼稚園の機能の一体化	34.1%
(4)	病児·病後児保育	33.8%
(5)	バスなどによる保育所までの送迎サービス	17.5%
(6)	0歳児保育	16.9%
(7)	保育所内に子育て相談コーナーの設 置·拡充	15.4%
(8)	今のままでよい	2.0%
(9)	その他	5.7%
	・保育料の値下げ	10件
	・保育士の人材育成・待遇改善・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9件
	など	82件
	<sup>2</sup> 育て支援のため、行政としてどのよう もめるべきか(3つまで選択)	が取組
(1)	待機児童の解消や幼児教育と保育の 質の向上	44.8%
(2)	育児休業制度の普及促進や、子育て	38.5%
	女性等の継続就業・再就職支援	00.0%
(3)	女性等の継続就業·再就職支援 妊娠·出産に関する支援	33.8%
(3) (4)		
` ,	妊娠・出産に関する支援	33.8%
(4)	妊娠・出産に関する支援 放課後対策の充実 地域住民や民間団体の活動を支援して、	33.8% 26.2%
(4) (5) (6) (7)	妊娠・出産に関する支援 放課後対策の充実 地域住民や民間団体の活動を支援して、 子育てを社会全体で支える環境整備	33.8% 26.2% 25.4%
(4) (5) (6)	妊娠・出産に関する支援 放課後対策の充実 地域住民や民間団体の活動を支援して、子育てを社会全体で支える環境整備 地域における子育て支援拠点の整備 小児医療体制の確保 長時間労働の抑制やテレワークの活用	33.8% 26.2% 25.4% 20.4%
(4) (5) (6) (7)	妊娠・出産に関する支援 放課後対策の充実 地域住民や民間団体の活動を支援して、子育てを社会全体で支える環境整備 地域における子育て支援拠点の整備 小児医療体制の確保 長時間労働の抑制やテレワークの活用 等、働き方の見直しに向けた環境整備 児童虐待の防止や家庭で適切な養育を受	33.8% 26.2% 25.4% 20.4% 20.1%
(4) (5) (6) (7) (8)	妊娠・出産に関する支援 放課後対策の充実 地域住民や民間団体の活動を支援して、子育てを社会全体で支える環境整備 地域における子育て支援拠点の整備 小児医療体制の確保 長時間労働の抑制やテレワークの活用 等、働き方の見直しに向けた環境整備	33.8% 26.2% 25.4% 20.4% 20.1% 18.8%
(4) (5) (6) (7) (8) (9) (10)	妊娠・出産に関する支援 放課後対策の充実 地域住民や民間団体の活動を支援して、子育てを社会全体で支える環境整備 地域における子育て支援拠点の整備 小児医療体制の確保 長時間労働の抑制やテレワークの活用等、働き方の見直しに向けた環境整備 児童虐待の防止や家庭で適切な養育を受けられない子どもへの社会的養護子どもが生命の大切さや家庭の役割の理解を深め、豊かな人間性を育成する体験	33.8% 26.2% 25.4% 20.4% 20.1% 18.8% 16.6%
(4) (5) (6) (7) (8) (9) (10)	妊娠・出産に関する支援 放課後対策の充実 地域住民や民間団体の活動を支援して、子育てを社会全体で支える環境整備 地域における子育て支援拠点の整備 小児医療体制の確保 長時間労働の抑制やテレワークの活用等、働き方の見直しに向けた環境整備 児童虐待の防止や家庭で適切な養育を受けられない子どもへの社会的養護子どもが生命の大切さや家庭の役割の理解を深め、豊かな人間性を育成する体験活動 男性の子育て促進 その他	33.8% 26.2% 25.4% 20.4% 20.1% 18.8% 16.6% 14.0%
(4) (5) (6) (7) (8) (9) (10)	妊娠・出産に関する支援 放課後対策の充実 地域住民や民間団体の活動を支援して、子育てを社会全体で支える環境整備 地域における子育て支援拠点の整備 小児医療体制の確保 長時間労働の抑制やテレワークの活用等、働き方の見直しに向けた環境整備 児童虐待の防止や家庭で適切な養育を受けられない子どもへの社会的養護子どもが生命の大切さや家庭の役割の理解を深め、豊かな人間性を育成する体験活動 男性の子育て促進 その他 ・親への教育・意識改革	33.8% 26.2% 25.4% 20.4% 20.1% 18.8% 16.6% 14.0%
(4) (5) (6) (7) (8) (9) (10)	妊娠・出産に関する支援 放課後対策の充実 地域住民や民間団体の活動を支援して、子育てを社会全体で支える環境整備 地域における子育て支援拠点の整備 小児医療体制の確保 長時間労働の抑制やテレワークの活用等、働き方の見直しに向けた環境整備 児童虐待の防止や家庭で適切な養育を受けられない子どもへの社会的養護子どもが生命の大切さや家庭の役割の理解を深め、豊かな人間性を育成する体験活動 男性の子育て促進 その他	33.8% 26.2% 25.4% 20.4% 20.1% 18.8% 16.6% 14.0%

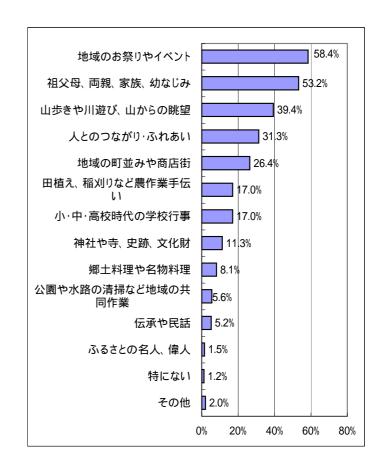






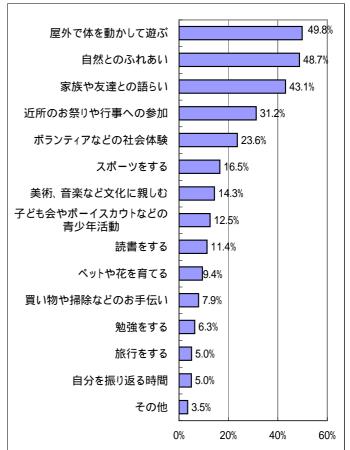
#### 問7 「ふるさと」という言葉から浮かぶ子どもの頃の 思い出は何か(3つまで選択)

10×0	1四は同か(3つより医が)	
(1)	地域のお祭りやイベント	58.4%
(2)	祖父母、両親、家族、幼なじみ	53.2%
(3)	山歩きや川遊び、山からの眺望	39.4%
(4)	人とのつながり・ふれあい	31.3%
(5)	地域の町並みや商店街	26.4%
(6)	田植え、稲刈りなど農作業手伝い	17.0%
(7)	小・中・高校時代の学校行事	17.0%
(8)	神社や寺、史跡、文化財	11.3%
(9)	郷土料理や名物料理	8.1%
(10)	公園や水路の清掃など地域の共同作業	5.6%
(11)	伝承や民話	5.2%
(12)	ふるさとの名人、偉人	1.5%
(13)	特にない	1.2%
(14)	その他	2.0%
	・ふるさとと呼べる場所がない	6件
	・おてだま、泥遊びなど子どもの頃の遊び	3件
	など	29件



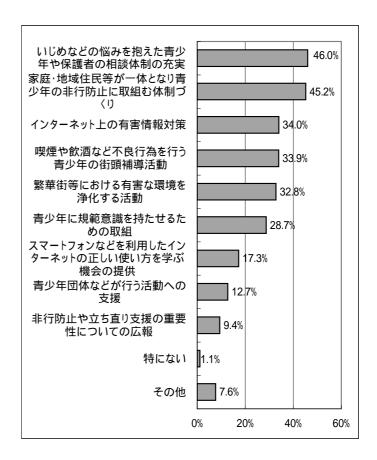
#### 問8 青少年が健やかに育つために、どんな経験 や体験が大切か(3つまで選択)

(1)	屋外で体を動かして遊ぶ	49.8%
(2)	自然とのふれあい	48.7%
(3)	家族や友達との語らい	43.1%
(4)	近所のお祭りや行事への参加	31.2%
(5)	ボランティアなどの社会体験	23.6%
(6)	スポーツをする	16.5%
(7)	美術、音楽など文化に親しむ	14.3%
(8)	子ども会やボーイスカウトなどの青少年活動	12.5%
(9)	読書をする	11.4%
(10)	ペットや花を育てる	9.4%
(11)	買い物や掃除などのお手伝い	7.9%
(12)	勉強をする	6.3%
(13)	旅行をする	5.0%
(14)	自分を振り返る時間	5.0%
(15)	その他	3.5%
	・近所の人とのふれあいや世代間交流	9件
	・親の愛情を感じさせること	5件
	など	51件



# 問9 青少年非行防止のために、行政に力を入れてほしいことは何か(3つまで選択)

10.00	.00101111 (3 200 000)	( )	
(1)	いじめや不登校などの悩み 青少年や保護者の相談体		46.0%
(2)	家庭・学校・事業者・地域信 一体となり青少年の非行防 む体制づくり		45.2%
(3)	青少年に有害な情報を掲載し ど、インターネット上の有害情報		34.0%
(4)	喫煙や飲酒など不良行為を 年の街頭補導活動	を行う青少	33.9%
(5)	繁華街等における有害な球する活動	環境を浄化	32.8%
(6)	青少年に規範意識を持たせる	ための取組	28.7%
(7)	スマートフォンなどを利用した。 の正しい使い方を学ぶ機会の		17.3%
(8)	青少年団体などが行う活動	への支援	12.7%
(9)	非行防止や立ち直り支援のついての広報	)重要性に	9.4%
(10)	特にない		1.1%
(11)	その他		7.6%
	・親への教育		14 <b>件</b>
	・罰則の強化		12件
		など	111件



企画県民部広報課広聴室 (TEL078-362-3021)